

「精神医学の社会的基盤」第7回研究会

ICD-11 と精神障害の分類・診断をめぐって

2017年10月27日（金）13:30-17:00

東京大学駒場Iキャンパス18号館4階コラボレーションルーム1

松本ちひろ（日本精神神経学会・ICD-11 フィールドスタディ国内コーディネータ）

「精神科診断における病名の役割・影響とICD-11に向けた近年の動向について」

石原孝二（東京大学・大学院総合文化研究科）

「ICDの分類体系と精神障害」

北中淳子（慶應義塾大学・文学部）

「予防医学時代の認知症：人類学的アプローチ」

コメンテーター

浦野茂（三重県立看護大学・看護学部）

参加お申し込みフォーム Peatix のサービスかグーグルフォームのいずれかからお申込みください。（Peatix のサービス利用には登録が必要です。）

[Peatix] <http://peatix.com/event/309633/>

[グーグルフォーム] <https://goo.gl/forms/wgJSAjSWil0OTjry2>

科研費・基盤研究B（16H03091）

精神医学の社会的基盤－対話的アプローチの精神医学への影響と意義に関する学際的研究－

（研究代表者：石原孝二／東京大学大学院総合文化研究科）

JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research (B) (16H03091)

“*Social Basis of Psychiatry: An Interdisciplinary study of the significance and impact of the dialogical approaches to psychiatry* (P.I. Kohji Ishihara/The University of Tokyo)

<http://social-basis-of-psychiatry.jimdo.com/>